

# 全固体電池の研究最先端と 実用化へのロードマップ

～全固体電池の現状と有望な応用分野等を分かり易く解説～

— 講師 — 国立大学法人東京科学大学 全固体電池研究センター  
特任教授 池松 正樹 氏

日時 2025年2月21日(金) 午前10時～12時  
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)  
会場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

## [重点講義内容]

地球環境問題への対応のために期待される次世代蓄電デバイスとして現在、最も早期の実用化が期待されている「全固体電池」について分かり易く解説する。蓄電池の長い研究開発の歴史のなかで、夢の電池と期待され続けながら、実現への道筋を見通すことが困難であった全固体電池研究におけるブレークスルーポイントは何であったか。

全固体電池の実用化のためのロードマップとそれに基づく、現在位置はどうなっているのか。全固体電池によって期待される最も有望な応用分野はどこにあるのか。実用化のために残された技術課題と克服の見通しはどうか。などについてできるだけ分かり易く、研究最前線を解説する。

1. エネルギー研究の立場から蓄電デバイスの重要性を読み解く
2. 蓄電デバイスの長い研究の歴史を振り返り、全固体電池への期待を概説
3. 全固体電池の実現のためのブレークスルーポイントを創出した固体イオニクス
4. 全固体電池の最先端の研究現状
5. 全固体電池実用化までの技術ロードマップ
6. 全固体電池実用化への課題と期待される応用分野
7. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 池松 正樹 (いけまつ まさき) 氏

大手企業にて研究所長、新規事業部長、技術開発・知財担当役員を経歴後、2015年より東京工業大学、2024年10月 東京工業大学と東京医科歯科大学の統合に伴い現職。

